

大阪府済生会中津病院「情報ライブラリー」での活動

太田 里美(登録会員)

中津病院北棟2階にあるこぢんまりとした部屋が情報ライブラリー(患者図書室)です。入口にはボランティアが手作りした季節感あふれる開室案内パネルが有り、温かい雰囲気です。

平日10時から15時が開室時間です。開室時間中には入院患者さん、外来患者さんはもちろんのこと、病院関係者の方も来てくださいます。

「面白い本はないかな？」とぶらりといらっしゃる患者さんもあり、「どんな本が好きですか？」などと言いつつ本棚の前で一緒に探します。本談義に花が咲くこともあり、楽しいひと時です。



蔵書数7500冊！ほとんどが寄贈書です。どこからこれだけの本が集まったのかと不思議なほど多種多様な本があります。私が普段は手にしないような本も書棚に沢山あり、感心したり、我が読書範囲の狭さを痛感したりです。ボランティア仲間やコーディネーターから紹介された本を読み、それがきっかけで次々と読む本が広がっていくこともあります。

中津病院情報ライブラリーでは患者さんの希望にきめ細かく柔軟に対応することを大切にしています。できるだけ患者さんに喜んでもらえるよう、本の知識も増やし、患者さんとの対応についても勉強していきたいと思っています。



中津病院でボランティアをしていると楽しいおまけもあります。

雨の中、大学生のボランティア2人と一緒に傘をさしてパンジーの花を摘んだことがありました。押し花にするためです。摘んできた花をティッシュペーパーで水気を取りながら電話帳に挟んでいきました。三人で作業しながらのよもやま話。そんなひと時も楽しい思い出です。この時の押し花は驚くほどきれいにでき上りました。それを思い出し、今朝ベランダのパンジーを摘んで重しをかけてみました。さて、うまくできるでしょうか。

夫が亡くなってから始めたボランティア活動です。活動していると沢山の人と出会います。歳をとってからの友人もできました。社会とどこかでつながっている安心感もあります。中津病院でのボランティアは4年目となりますが、体が動く間は活動を続けたいと思っています。